



ブラジリアの風

Vento de Brasília

献金報告と感謝

献金者一覧 (2018年1-2月)

松戸福音教会、安城中央礼拝教会、
 蛭池聖書教会、西大寺礼拝教会、生
 駒めぐみ教会、総和礼拝教会、矢作
 礼拝教会、播磨礼拝教会、町田南礼
 拝教会、波崎礼拝教会、麻布霞町教
 会、愛宕山教会、鞭木由行、浜田良
 夫、匿名1名 (敬称略)

168,300円 (1-2月合計)

2018年の目標額

浜田宣教師指定：320万円

教育費の必要が年々増えています。
 特にブラジリアの私立学校授業料は
 毎年15%ほどアップ。保険外の歯科
 治療費等の必要も大きいです。教団
 の国外宣教委員会の会計が逼迫して
 いることも合わせてご理解と引き続
 きのご支援をお願い申し上げます。



受難と復活

受難週に入る聖日の朝 (3/25) 「エロイ、エロイ、ラマ、サバクタニ」と題して礼拝メッセージの奉仕にあずかりました。マルコ15章から、御子イエスの十字架上の悲痛な叫び「わが神、わが神、どうしてわたしをお見捨てになったのか」の真意を熟考し説教。詩篇22篇に裏打ちされたこの叫びは、悲痛・絶望・孤独の極みにあっても、なお御父への深い信頼と復活の希望が内包されていたのではないかと。事

実、主イエスは「完了した」との言葉をもって十字架の使命を果たし、三日目に死から復活された。「神の小羊」として屠られ、「神に打たれ、苦しめられた」御子イエス。しかし、御父の愛は変わることなく御子に注がれ、罪に悩む私たち人間に注がれた。私たちが直面する苦しみを主はどのようにご覧になっているのか。罪ゆえの痛み、理不尽な負わされた痛み…。主は憐れみの御目をもって、私たちが断罪する代わりに、御子を「罪」として裁かれた。この御子による贖いの恵みを受け入れる者は罪に定められることがない。この救いにあずかり「あわれみの器」に造り変えられた者として、主のご愛と恵みをいよいよ味わい、証しする者とされたい。

変わらない皆様の尊いお祈りと
 ご支援に心から感謝しつつ。

2018年4月1日 浜田献、陽子



受難節に咲く「クワレズメイラ」 (四旬節の花)

昼食は玄米弁当！

子どもたちの現地校は、日本のような給食がなく、午前授業で終わり。が、長男・次男は午後サッカー選抜の練習や英語レッスンありで、家での昼食が困難に。そこで節約も兼ねて妻がお弁当を作り、家族みんなで学校で食べることに。圧力釜で炊く玄米は香ばしい甘みがあり完全食としてお勧めです！妻の苦勞に感謝していただきます。



エイジくんのために お祈りください！

友人夫妻のご長男エイジ（栄侍）くんは、病院から出て自宅での集中治療が続いていましたが、三月半ば再び危険な状態となり入院。ご両親の張り裂けんばかりの心を思うと言葉がありません。生後七ヶ月を迎えるエイジくんに主の全き癒しと回復、成長が与えられますように。



日本文化を伝えながら

「ひな祭り」は宗教色の薄れた日本文化の一つになったが、その起源を日本語学校の生徒たちに教え、真の神様に子どもたちの健やかな成長を祈る時を持った。”雛人形に人間の穢れを託す”という考えには、拭いきれない原罪の重さや理不尽な病苦から逃れたいとの思いがあるのだろう。人間の罪を担い真の救いを与えてくださる主イエスを証ししていきたい。約60名の日本語学校生徒たちとその家族に。



救いのよろこび！

イースター礼拝で三名の姉妹が洗礼の恵みに（写真左から、小野ミエ、松永マルセラ、松永ピエトラ）。松永姉妹は二年前



から日本語を学ぶようになり、教会と青年たちの交わりの中で信仰が育まれていった。ミエ姉妹は寝たきりのお姉様を介護する傍ら、救いを求めて求道決心に。信仰に反対

していた家族には内緒で安井牧師と信仰の学びを続けていたが、受洗直前に信仰を表明。当日はご家族も見守るなかで洗礼を受けられ「神の家族」に迎えられた。

「あなたがたは羊のようにさまよっていましたが、今は、自分のたましいの牧者であり監督者である方のもとに帰ったのです」 I ペテロ2:25



日本同盟基督教団 ブラジル宣教師 浜田献、陽子／真理生、湧希、聖也、翔
住所：Av. Contorno, Bloco 1125, Casa 11, N.B.-DF. Brasília BRASIL CEP:71705-024
E-mail: ken yokomario@yahoo.co.jp 第二期（2017.1月～2020.12月予定）